

青海中 どうしたんですか

校長 渡辺 隆

日本には、機をとらえて志を立て、自分を高めようとする習慣があります。

今、当校の生徒会では、役員の子どもたちが、次々と新しい取組を繰り出し、3年生も、2年生も、入ってきたばかりの1年生も、順調に新年度を滑り出しています。

生徒会スローガン「けじめのある、 明るい、元気な学校」

「校長さん、青海中、どうしたんですか。雰囲気が変わりましたね。」

ある地域の方の言葉です。何も変わっていません。子どもたちが、やる気になっているだけです。子どもたちが、自分たちの力で、自分たちの生活をコントロールしていく姿は、一緒にいて本当にうれしい気持ちになります。

私は、全校生徒236人がみんな自分の子どもだと思っています。学校では、私たち教職員全員が、子どもたちの親です。

親って何でしょう？子どものしあわせを願うのが、親です。将来私たちがいなくなったときでも、子どもが立派に生きてい

けるように、今、育てるべきことを育てるのが、親の務めです。職員一同、力を合わせ、全力を尽します。

本年度教育活動の

キーワード「覇気」



今年は、PTAの皆さんが、子どもたちと同じフィールドでふれあう活動を考えてくださっています。

地域の皆さんには、いろいろな手段で、青海の中学生をもっと知っていただきたいと考えています。「なるほど、子どもたちが変わった！」と言われるように、それが皆さんから見えるように、活気ある活動を重ねてまいります。

ですから、いいことも悪いことも、どうぞ学校へお知らせください。子どもたちや保護者の皆さんに、どんどん伝えていきます。それが、糸魚川市の目指す「日本一の子ども」への第一歩になると思っています。

どうか、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。